

福岡城に天守閣を  
— 城のある都市復活元年!! —

# お城たより

2008年8月  
No.18



現在の護国神社の上空より見る 福岡城の主郭部、本丸・二の丸・南二の丸(模型)(しんわ福岡城資料室より)

鎮守の杜が果たす役割は、地球環境保全の観点からも注目を集めています。ある調査によれば、杉などの植林が進んだ日本の一般的な森林より二酸化炭素( $\text{CO}_2$ )を三倍以上蓄積していると言われています。このことからも、福岡城・大濠公園・護国神社は、都心の貴重な緑地遺産として次世代に大事に保護継承していかなければならぬと思います。

しかしながら、帰宅時や散歩の折に神社の前から城内、南二の丸に向かつて上がり、けやき通りに沿つて城内を高等裁判所方面に歩を進めるとお濠や道端にはゴミが散乱、むしろ福岡の町より緑地が多いと思ふくらいです。福岡の町は海も山もすぐ近くにあることが逆に自然の恵に対して疎かにしているよう見受けられます。

福岡城天守閣がみんなの力で再現できれば、福岡の町の自然・歴史・文化に興味を持ち学び、郷土に誇りと自信が生まれ公徳心も育ち大切にしてゆくのではと思う次第です。

見守っています。

昭和十八年の創建時、城外福岡練兵場跡地に福岡県民延べ十五万人の方々の誠心こもる勤労奉仕と三〇〇〇〇〇の献木によって造成された人工の杜です。この杜も、はや六十五年を迎える中の中にあり、人々の心を癒す鎮守の杜として春夏秋冬親しまれ、私たちを見守っています。

福岡城の南に位置する、護国神社の杜は城内の自然林の中に造られたと思っている方が多いですが、実は神社の杜は昭和十八年の創建時、城外福岡練兵場跡地に福岡県民延べ十五万人の方々の誠心こもる勤労奉仕と三〇〇〇〇〇の献木によって造成された人工の杜です。この杜も、はや六十五年を迎える中の中にあり、人々の心を癒す鎮守の杜として春夏秋冬親しまれ、私たちを見守っています。



福岡県護国神社  
宮司 田村 豊彦

「先人の心を次世代へ」

# NPO法人 福岡市民の会 第4回総会開かれる

平成20年6月20日開催の第4回通常総会及び第7回理事会に於いて下記の事項が承認されました。

## 1. 平成19年度事業報告及び収支決算

### 【平成19年度事業報告書】

平成19年度4月1日から平成20年3月31日まで

#### 1 事業の成果

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指して、下記活動を実施することによって、鴻臚館・福岡城に対する市民の認識を更に新たにした。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人數	支払額(千円)
イベント開催 観桜の宴	4月6日	福岡城跡	30人	市民150人	150	
イベント開催 どんぐり舞台	5月3~4日	福岡城跡	50人	市民6,000人	8,249	
イベント開催 福岡城歴史探 究会	9月22~24日 11月22~24日	よみうりプラザ アクロス福岡	10人 50人	市民180人 市民1,260人	500 1,090	
イベント開催 観月の宴	9月27日	福岡城跡	50人	市民1,800人	6,946	
研究・啓発 歴史探訪バッサー 講演会の開催	8回	福岡県内	24人	市民355人	0	
研究・啓発 講演会の開催	8月11日	中央民センター	20人	市民100人	102	
研究・啓発 講演会の開催	3月1日	アクロス福岡	20人	市民200人	228	
研究・啓発 機関紙	4回	事務所	20人	報紙1,000部×4組	1,314	

##### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者的人数	支払額(千円)
募金活動事業 個人・団体への募金活動	随時	随所		10人	0

### 【平成19年度収益事業会計収支計算表】

平成19年4月1日から平成20年3月31日

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	金額(単位:円)
I 経常収入の部	
1 事業収入	
イベント開催事業 どんぐり舞台	8,241,699
観月の宴	6,874,325
西日本新聞旅行企画料	260,000
研究・啓発事業	
福岡城・黒田五十二万石の歴史と観光展及び黒田24騎展	1,256,160
その他事業	
経常収入合計	466,200
	17,098,384
II 経常支出の部	
1 事業費	
イベント開催事業 どんぐり舞台	8,243,050
観月の宴	6,924,300
観桜の宴	43,000
研究・啓発事業	
福岡城・黒田五十二万石の歴史と観光展及び黒田24騎展	1,832,774
その他事業	
2 管理費	
経常支出合計	258,198
	17,301,322
III その他の資金収入の部	
1 捨入	
その他資金収入合計	1,023,163
	1,023,163
当期収入差額	
前期繰越収入差額	82,983
	82,983
次期繰越収支差額	-1,143,118
	-1,162,173
	-2,305,291

## 2. 平成20年度事業計画及び収支予算

### 【平成20年度事業報告書】

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

#### 1 事業の方針

鴻臚館・福岡城を生かした地域活性化とその復元を目指して、イベント開催や研究・啓発事業を積極的に行うとともに、関係諸団体との連携を一層活発化し、鴻臚館・福岡城に対する認識を更に新たにしていく。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期日	実施予定期場所	従事者の予定期	受益対象者の範囲及び予定期	支払額(千円)
イベント開催 観桜の宴	4月	福岡城跡	30人	市民150人	市民200人	430
イベント開催 どんぐり舞台	5月	福岡城跡	50人	市民6,000人	市民8,000人	6,200
イベント開催 福岡城歴史探 究会	9月	よみうりプラザ	10人	市民1,260人	市民300人	300
イベント開催 観月の宴	11月	アクロス福岡	50人	市民1,800人	市民300人	6,000
イベント開催 歴史探訪バッサー 講演会の開催	9月14日 8回	福岡城跡	50人	市民355人	市民600人	0
研究・啓発 講演会の開催	9月~11月	福岡県内	3人×8回	市民100人	市民100人	1,000
研究・啓発 講演会の開催	11月	よみうりプラザ	15人×5回	市民200人	市民300人	450
研究・啓発 機関紙発行	8月 4回	アクロス福岡 事務所	5人×2回 5人×2回	市民300人	市民300人	1,400

##### (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定期日	実施予定期場所	従事者の予定期	受益対象者の範囲及び予定期	支払額(千円)
募金活動事業 個人・団体への募金活動	随時	随所		10人	市民100人	10

### 【平成20年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書】

平成20年度4月1日から平成21年3月31日まで

NPO法人 鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

科 目	金額(単位:円)
I 経常収入の部	
1 会費収入	2,900,000
2 事業収入	
イベント開催 どんぐり舞台	330,000
観月の宴	5,800,000
薪能	6,000,000
観光歴史大学	1,000,000
福岡城歴史展	300,000
史跡探訪バッサー 講演会	240,000
機関紙発行	300,000
	0
3 その他の事業会計からの 繰入経常収入合計	13,970,000
II 経常支出の部	
1 事業費	
観桜の宴	430,000
どんぐり舞台	6,200,000
歴史探訪バッサー 講演会	6,000,000
薪能	0
観光歴史大学	1,000,000
福岡城歴史展	300,000
史跡探訪バッサー 講演会	0
機関紙発行	450,000
	1,400,000
2 管理費	
経常支出台計	15,780,000
3 予備費	
経常支出台計	90,000
IV その他資金収入の部	
その他資金収入合計	0
V その他資金収出の部	
その他資金収出合計	0
VI その他資金取扱いの部	
前期繰越収支差額	0
次期繰越収支差額	0
	2,632,380
	2,632,380

## 3. 平成20年度 役員名簿

顧問 麻生 渡 福岡県知事

顧問 吉田 宏 福岡市長

顧問 黒田 長久 黒田家15代当主

顧問 黒田 長高 黒田家

役 名	氏 名	報酬の有無	事 項
理事長	石井 幸孝	無	再 任
副理事長	中島 敏行	無	再 任
理 事	吉谷 正人	無	新 任
理 事	井口 雄哉	無	再 任
理 事	稲員大三郎	無	再 任
理 事	緒方世喜子	無	再 任
理 事	岡部定一郎	無	再 任
理 事	各務 章	無	再 任
理 事	高倉 清子	無	再 任
理 事	西 憲一郎	無	新 任
監 事	仁田 長治	無	再 任

敬称略



また、事務局より新規事業として「福岡歴史観光市民大学」の開講及び11月上旬の下の橋大手門の開通式典について説明をいたしました。西理事より「黒田長政一二十四騎展」9月12日より開催のご案内がありま

した。5月30日(金)の第7回理事會を経て、総会が開催され右記のとおり無事終了しましたことを会員の皆様にご報告いたします。

第1号議案・平成19年度事業報告及び収支決算  
第2号議案・平成20年度事業計画及び収支予算

日時 平成20年6月20日(金)  
場所 読売新聞西部本社1F  
10時~12時  
よみうりプラザ

NPO法人鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会  
第4回通常総会報告

総会報告

# 福岡城探訪

## 筑前のご隠居 黒田如水

藤 金之助

この隠居所での生活は、戦国の動乱のなか、常に戦場にあつた如水がようやく晩年になつて幸圓夫人とふたり、質素ながら平和な生活を得た貴重な時であつた。

昭和三十四年発行の吉川英治の小説「黒田如水」の解説のなかで作家であり、評論家の木村毅は如水を評して

「この人、単なる武将でなく、文雅のたのしみを解し、又今までいう人道主義的な行為に富んでいた。その逸話をひろつていくと、トルストイの言行録でも、よんではいるような気がすることがある。」と絶賛している。

(参考・柳猛直著「黒田三百年」)

故郷の姫路では戦国の英雄、黒田官兵衛として崇拜されているが、晩年を過した太宰府、福岡ではもつぱら「筑前のご隠居」黒田如水として家臣はもとより領民や子供たちにも親しまれ、その言行にはさながら良寛さんを偲ばせるような逸話が多い。

一六〇三年、一年余を太宰府で仮住いをして、いた如水は、福岡城内の北西、三の丸の岡の上の隠居所に移る。五十二万石の太守の父の住居とは思えぬ質朴な住居で、如水の命であつた。ここは後に藩主に仕える鷹匠の屋敷となり、「お鷹屋敷」と呼ばれるようになつた。その跡地は現在しやくなげの公園として市民の目を楽しませている。

隠居所での如水の生活は質素そのもので仕える小者や召使いも少く、櫛橋夫人(幸圓)の侍女も僅かであった。

この隠居所には播州以来の功臣たちが次々と訪れ、如水を囲んで酒を飲んで夜を徹して歓談したといふ。また如水は若い家臣たちを呼んで父祖の武勇を語つて聞かせ教育をした。

如水は暇があると小者一人を連れて福岡の町に出かけ気軽に家臣の家に立ち寄り、茶などを飲んで雑談をするのを楽しみにしていた。また子供好きだった如水は子供たちを集めてお菓子をやつたり、小鳥を与えて一緒に遊んで飽きなかつた。子供たちも良くなついて、隠居所に来ては如水を誘つて広い庭で遊んだそうだ。

如水は人使いの名人と云われるが、或る時竜若という子供の草履取りのいたずらがあまりにもひどいので、台所の柱に縛りつけた。そこへ田舎からウリを差し上げたいと云つていたので如水は竜若の縄をとき使いに出し、帰つてくるとウリを食べさせ又縛る。こうして3日間、放しては用事をさせ、又縛つてようやく許してやる。側の者が珍らしい罰だと聞くと、如水は笑つて「竜若のいたずらを直そうと縛つたが、使わないので損だし、縛りづめも可愛そだから時々放して用事をさせた。ゆるゆると折檻すればこりるであろう。」と語り、みんなは笑いながらも如水の優しさを感じ入つたという。

如水の隠居屋敷跡



如水像



如水の隠居屋敷跡

一般会員(団体)
(株)電通
中村工業(株)
(株)キヨウテクノエリアネット
国松石材(株)
神道夢想流杖道
(株)トステック
(株)東雲堂

末 櫻坂酒 小後栗川笠 小荻江浦 上上飯 有赤  
安井口井宮藤川崎作野野本志野野田吉松  
重隆孝貴良 久秀慶眞忠信温尚 一泰公  
光志治子俊恵明喜子宏行行子志二彦徳昭

吉吉宮萬松松松藤波野西中中中中豊徳田  
左  
水弘原野岡井井末間上田村野里川永永堀  
勝建克 公久俊金啓清康 芳公恒ヨ郁敏  
仁 喜一良豊ニ子規矢生貴弘孝子哉彦子子則

倉牛猪井飯飯飯  
崎島股手盛盛田  
加尚利利時  
代子孟誠康明生

山中靄菅新後  
口原原原藤  
奈利克道明直  
美房則之博伸

新規会員名簿

(平成20年7月6日現在)

## 市民参加の古代官道(西海道) 調査・活用事業

### 「古代のハイウェイを甦らそう」

☆「新たな公」モデル事業(市民の会・新規事業・太宰府のNPOと共に事業)

七世紀につくられた壮大な古代

官道の二大拠点は、畿内とならん  
で、西海道であり、域内すべての官  
道は基点太宰府から始まつており、  
畿内との大路(山陽道)、鴻臚館との

直結道路が基幹となつております。

まず、太宰府を中心にして六方面に  
伸びる官道と、合わせて鴻臚館との  
連結に集点を合わせ、太宰府・筑紫

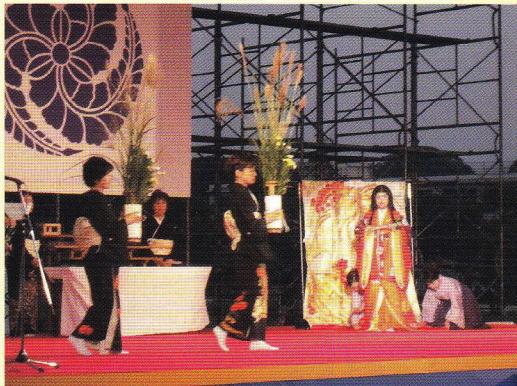
野両市域を中心とした福岡都市圏  
の歴史・文化・ウォーキング・地域お  
こし等のグループとともに「古代官  
道探索イベント」を始めたいと思つ

ています。国・教育委員会・学会等に  
よる従来の発掘調査・研究成果の開  
示や郷土史家の協力を得て、参加市

民のオリエンテーションを行い、地  
図等による地理的調査、現地踏査  
調査、地名・景観・言い伝え等による  
郷土史的調査を継続的に行います。  
その成果をまとめるとともに、その  
活用法についての市民提案等も行  
い、ルート上の地域活性化につなげ  
て行きたいと考えています。



古代官道の通行証  
だった駅鈴



## 鴻臚館・福岡城 観月の宴の開催

とき

平成二十年九月十四日(日)

受付・十六時

第一部／月のめぐみに感謝して

十六時二十分

月の出十七時四十三分

第二部／観月の宴十八時十分

ところ

舞鶴公園西広場

☆会員の皆様のご参加をおまち  
しています。

とき

平成二十年九月十五日(祝)  
午後六時開演 午後五時開場

ところ

舞鶴公園西広場  
(雨天の場合は大濠公園能楽堂)

とこ

舞鶴公園西広場  
(雨天の場合は大濠公園能楽堂)

とこ

能楽協会九州支部  
〇九〇一三六六八一〇九五九  
(事務局／西向)

入場料  
全席自由三千円 六百席限定

問い合わせ先  
入場券発売所

能楽協会九州支部  
〇九〇一三六六八一〇九五九  
(事務局／西向)

大濠公園能楽堂  
〇九二一七一五一一五五

## 福岡城 観月薪能

満月の光の中に現れる幽玄の舞台。

表紙  
福岡城本丸・二の丸写真の説明  
南二の丸

### 【福岡城本丸】

標高24mの所に本丸御殿があり、初代藩主黒田長政が住んでいました。

この本丸を土台に高さ13mの天守台の上に23mの天守閣がそびえていました。したがつて海面から天守閣の鰐までの総高は60mになります。(現在の20階建マンションに相当)

### 【南二の丸】

本丸の南側方面の守りを固めるため、黒田24騎の武将が城代を勤めていました。ここには天守閣に次ぐ大きな南三階櫓がありました。更に今でも見ることができます。多聞櫓があります。

### 【追廻橋と門】

福岡城内には三カ所の「橋と門」しか出入りが出来ませんでした。その中の一カ所がこの追廻橋と追廻門です。現在は復元橋が別な場所にあります。

編集・発行:  
鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

住所:  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15  
読売福岡ビル7階

TEL:092-716-8238  
FAX:092-716-8254

HPアドレス:  
<http://fukuokajokorokan.npgo.jp/>

E-mail:  
fukuokajo@tos.bbiq.jp

デザイン・印刷:(株)セブンプリンティング

新規事業として「福岡歴史観光市民  
大学」の開講、「鴻臚館と太宰府を結ぶ  
官道」の研究を太宰府市NPOの方々と  
ともに進めてまいります。

このように試行錯誤しながら、天守閣  
への夢は少しづつ前進していると事務局  
一同信じて諸事業に従事しております。  
会員の皆様方も事業等、市民の会の活  
動に是非の声をお寄せください。皆様  
のご支援をお待ちしております。